

2021年2月16日(火) アジ 石倉渡船 船外機ボート ツレと
中潮(旧1/5) 干潮02:02(25cm) 満潮08:27(152cm) 干潮14:30(47cm) : 尾鷲
アジ 19cmまで 75尾 (飲ませ用餌を含む) マアジと青アジが1:1の割合
カマス 1尾

5時20分 現地着(ETC深夜割引の利用のために早く出た)
6時30分 出船
8時27分 満潮(152cm:尾鷲)
13時30分 納竿
釣れそうになかったので少し早上がりした。
14時00分 現地出発



【料金】 船外機ボート ¥11,000 保険500円×2人=1,000円 合計12,000円

【餌】 アジ:アミエビをフィッシング遊にて購入しておいた。
カマス:スーパーで購入したサンマを切り身にして冷凍しておいた。

【仕掛け】

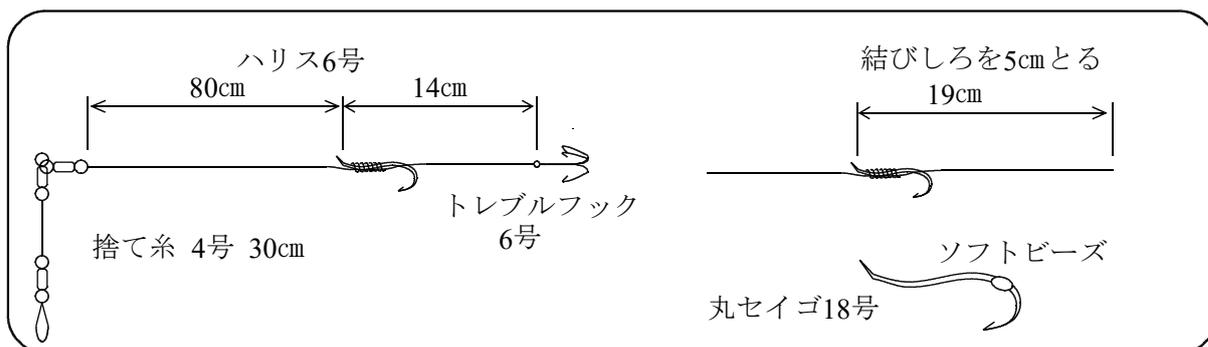
アジ:サビキ(リユース)

ハヤブサ製 胴突専科 サバ皮 鈎10号 6本鈎 ハリス2号12cm 枝間35cm
キス竿にスピニングリールをセット おもり20号
ジギングロッドにタイ釣り用小型両軸リールをセット おもり20号
どちらも十分に使用可能だった。釣りにくいということもなかった。

カマス:ジグヘッド5g(シャンクの長いもの) リーダーの先にフロロ7号30cmをつける。キス竿使用
飲ませ釣り:釣ったアジを餌に飲ませ釣り(泳がせ釣り)をする。

ジギングロッドにタイ釣り用小型両軸リールをセット おもり30号+25号

(風が強くボートの移動が速かったため、30号では足りなかった。)



カマス仕掛けによるカマスの釣果はなし。 飲ませ仕掛けによる釣果はなし。

【様子】

○石倉渡船のHPには、アジがたくさん釣れていたこと、カマスを釣っていた人がいること、船外機ボートでの飲ませ釣りをやりたかったことから、天気予報を見て予約することにした。

○3日前の天気予報では、鳥羽地方は強風だが、尾鷲や紀北は山の影響で風が弱かったので、船外機ボートの予約をした。

- 2日前にアミエビをフィッシング遊にて購入し、クーラーボックスに入れておいた。当日までに溶けていた。まだまだ冷たかった。
- 当日は晴れ。湾内では風少々、ときどき強く吹いた。しかし、飲ませ釣りのため湾から外に出たときは、風が強く吹いていた。ややうねりもあった。
- スタッフにアジ、カマス、飲ませのポイントを尋ねた。「アジ、カマスは湾内、移動が速いのでいろいろ探ってください。飲ませ釣りは、一本松とイカ島の間(キャンプ場前)、または、湾内のアジ・カマスの群れの端を丁寧に探ってください。」ということだった。
- 前回、カマスのポイントを探ねたときは、もっと具体的であった。HPの釣果も踏まえると、期待薄と感じたので、アジのサビキ釣りから始めることにした。
- ツレはタイ釣り用小型リールをつけたジギングロッドに、自分はキス竿に、かご、サビキ、おもり20号をセットした。
- 魚探で反応のあるところを探した。アンカーを入れてスタートした。いきなり入れ掛かりである。
- やがて釣れなくなった。魚探にも反応がないので、移動して群れを探した。
- カマスを釣っている人を見かけたので、カマス釣りを試してみた。ダメだった。釣れる気がしなかったので、すぐにアジ釣りに変えた。
- アジを探す魚探に群れが映らない。釣ったアジで飲ませ釣りをすることにした。湾外へ移動した。
- さっぱりダメ。アジ釣りのために湾内に戻った。
- コマセのアミエビがなくなった。トイレ休憩とした。
- アジがたくさん釣れたので、トイレ休憩後は、もう一度、飲ませ釣りをすることにした。
- キャンプ場前を2回流したがダメ。白灯台前を2回流したがダメ。風が強い。帰港時刻の午後2時まで少し時間があつたが、釣れる気がしなかったので、納竿とした。

【アジ釣り】

- 終日、ツレの方が自分より掛ける時間が短い。すぐに掛けている。ツレのリールには水深が表示されるので、これを上手く利用している。「水深10mで釣れるので、仕掛けを11mまで落とし、竿を振ってアミエビを出したら、1m巻き上げる。すぐに掛かってくる。最初、仕掛けを底まで落としときは、水深が12mだった。これ以降、棚が10mであることが分かっていたので、底まで仕掛けを落とすことはなかった。」と言う。なお、魚探での水深は15m、仕掛けの長さは約3mである。
- 自分はスピニングリールを使っていたので、仕掛けを底まで落とし、そこから竿を振り上げアミエビを出して1m上げるを繰り返した。
- いずれにしても、アジがいればすぐに掛かってきた。